

答 辞

やわらかな日差しが心地よく、春の訪れを感じる季節となりました。

本日、学位記授与式を催していただき修了生一同、心より厚くお礼申し上げます。また、池上学長より、熱い激励のお言葉を賜りましたこと、重ねてお礼申し上げます。

早春のこの日、私たちは無事学業を終え、長崎総合科学大学院修士課程の修了生として学窓を巣立つこととなりました。学生生活を振り返りますと、私はそのほとんどの時間を研究活動に費やしてきました。企業の方々や現地の方々との意見交換をすることもあり、分析技術や専門知識だけでなく人と人とのネットワークを広げることができました。また、夜遅くまで実験を行ったことや、分析が思うようにはできないこともありました。そのような時、諸先生方や友人、先輩、後輩など様々な人達に支えられ、乗り越えることができました。こうした活動の中で、人と人との繋がり大切さを改めて感じこの大学で出会った多くの人たちは、私にとってかけがえのない財産となりました。

私たち終了生は、本日をもって長崎総合科学大学院を巣立ち、新たな目標を達成するため社会へ出るようになります。これまでに得た知識や経験だけでは乗り越えられない壁が待ち受けているかもしれません。しかし、本大学院を修了した誇りを胸に自ら選んだ道を信じ進み続ける覚悟です。そして地域社会、国際社会に貢献できる人になるよう精進していきます。

最後に、長崎総合科学大学院で実りある学生生活を送ることができましたのも、ひとえに諸先生方や職員の皆様、友人、先輩、後輩そしてなにより、私たちを今日まで温かく見守り支えてくれた家族のおかげです。心より御礼申し上げます。皆様の今後一層のご活躍と、長崎総合科学大学の更なる発展を祈念し、答辞といたします。

令和三年三月十六日

長崎総合科学大学院

大学院生代表 小川内 瑠魁